

2 個別事業評価調書

団体名: 与謝野町

事業名		ボランティアコーディネーター設置事業					
事業の概要		高齢化社会の進行とともに福祉サービスの充実の要望が高まっており、このニーズに応えるためにはボランティアの育成と組織化が不可欠である。行政として ボランティア活動を支援することで、各地域の関係機関・団体とのネットワークを強化し、自主性・自発性・自己実現性を基にしたボランティア活動の推進に資するものである。 < 内容 > ボランティアコーディネーター3名の設置					
		事業期間	平成19年度				
		総事業費	5,877	本年度事業費	5,877	交付金交付額	2,938
事業 評 価	事業の必要性	高齢化社会の進行とともに福祉サービスの充実の要望が高まっており、このニーズに応えるため、ボランティアの育成と組織化が不可欠である。					
	事業の有効性	ボランティアを育成しボランティア活動の推進を図ることで、各地域の関係機関・団体との連携を強化し、地域で支え合うしくみづくりの構築に資する。					
	事業の効率性						
	具体的な成果	1 府と市町村等との連携に資する成果					
		2 住民の自治意識を高める成果					
		ボランティア活動を支援することで、自主性・自発性・自己実現性を基にしたボランティア活動の推進に資する。					
		3 リーディング・モデル成果					
4 広域的波及成果							
ボランティアの発掘・養成・研修、活動を実施することで、世代間交流の展開、グループ活動強化育成、地域福祉サービスへの関わりを強化することができ安心して暮らせるまちづくりに資する。							
5 行財政改革に資する成果							
6 その他の成果							
本町では今後もさらに高齢化が進むことは明白であり、ボランティアの協力や活動を推進することは必要不可欠なものである。							

(記載要領)

- 1 事業ごとに本様式を作成すること。
- 2 「具体的な成果」欄については、できる限り客観的な数値を掲げて具体的に記載すること。